

【会場】皆生海浜公園

15:00~15:30 開会式

15:30~16:45 トークセッション「アウトドアスポーツを通じたバリアフリー社会の実現」

**野島 弘** 日本チェアスキー協会理事
日本障害者ゴルフ協会理事

1962年東京都生まれ。17歳のときにバイクで直進中にわき見運転のクルマに衝突し、脊椎を損傷。その後チェアスキーを始め、1998年の長野パラリンピック代表に選ばれるが、レース前のトレーニングで大転倒、首を骨折しドクターヘリで救急搬送される。懸命のリハビリにより再起し、2006年のトリノパラリンピックに出場。引退後は日本チェアスキー協会理事、日本障害者ゴルフ協会理事などを務め、パラスポーツの普及のため精力的に活動している。

**辰野 勇** SEATOSUMMIT®連絡協議会理事長
米子・大山観光大使
モンベルグループ代表

1947年大阪府生まれ。1975年に株式会社モンベルを創業、現在代表取締役会長。アイガー北壁日本人第2登、カヤックでの黒部川源流～河口までの初下降など、数々の記録を持つ冒険家でもある。身障者カヌー大会「パラマウント・チャレンジカヌー」の開催や、阪神淡路大震災、東日本大震災時の「アウトドア義援隊」結成など、社会活動、災害支援活動などにも力を注ぐ。山岳雑誌「岳人」編集長も務める。

16:45~ 大会説明

開催中!
5.25~26**モンベル大山店
アウトレット・セール**

「皆生・大山 SEA TO SUMMIT®」の開催に合わせて、お得なアウトレット・セールを開催しています。この機会にぜひご来店ください。

モンベル大山店

鳥取県西伯郡大山町大山115
tel.0859-52-2511**前夜祭**を開催します! 地元食材を使用したお料理をふるまう前夜祭を開催します。【会場】米子市観光センター
【日時】5月25日(土) 17:30~19:00
【料金】¥1,000(税込) ※事前予約制
※飲み物代、アルコール代が別途必要です

会場案内・アクセス

大会受付・大会スタート

開会式・環境シンポジウム

【会場】日野川河口

・皆生海浜公園より国道431号線を米子IC方面へ、車で約10分
・JR米子駅からタクシーで約20分

【会場】皆生海浜公園

・米子自動車道・米子ICから国道431号線を皆生温泉方面へ約6km
・JR米子駅からタクシーで約15分、路線バスで約20分

閉会式・販売(地元特産品、飲料)

【会場】大山国立公園駐車場(博労座)

・米子自動車道・溝口ICから大山方面へ約10km
・米子自動車道・米子ICから大山方面へ約13km
・JR米子駅から路線バスで約55分

【お問い合わせ】

SEA TO SUMMIT® 連絡協議会 事務局 (株式会社モンベル 広報部内)
TEL 06-7670-3186 FAX 06-6531-5536 〒550-0013 大阪市西区新町2-2-2

オフィシャルウェブサイト

<https://www.seatosummit.jp/>

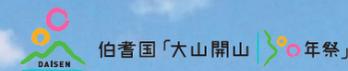
2019



SEA TO SUMMIT®

環境スポーツイベント シートゥーサミット®

大山のブナの新緑と日本海の絶景を満喫

令和最初の大会はSEA TO SUMMIT®発祥の地、皆生・大山から。
名峰大山を舞台に日本海の絶景と美しい新緑のブナ林が楽しめる素晴らしいコースです。
開山1300年祭を契機に新たな魅力に満ちた当エリアを満喫してください。K A I K E D A I S E N
5/25・26 SAT SUN 鳥取県 皆生・大山

大山隠岐国立公園(モンベルフレンドエリア大山・皆生)

大会プログラム



KAYAK 8km

BIKE 23.5km

HIKE 3.5km

主催/皆生・大山 SEA TO SUMMIT® 実行委員会(事務局:株式会社モンベル)

後援/国土交通省、観光庁、スポーツ庁、環境省中国四国地方環境事務所、鳥取県、米子市、大山町、日吉津村、公益財団法人 とっとりコンベンションビューロー、ジャパンエコトラック推進協議会

オフィシャルウェブサイト

<https://www.seatosummit.jp/>

※「SEA TO SUMMIT / シートゥーサミット」は株式会社モンベルの登録商標です。



皆生・大山 SEA TO SUMMIT®2019 大会に寄せて



皆生・大山
SEA TO SUMMIT®
大会長
鳥取県知事
平井 伸治

【略歴】
1984年東京大学法学部卒業。自治省入省。選挙部政治資金課課長補佐、税務局企画課理事官を経て、1999年鳥取県総務部長。2001年鳥取県副知事、2007年鳥取県知事就任（現在4期目）。

皆生・大山SEA TO SUMMIT® 2019に全国各地から御参加いただいた皆様を心から歓迎いたします。

カヤックで海へこぎ出し、自転車ですり抜け、登山で頂上を目指しながら、自然の魅力・素晴らしさを体感できる新しい環境型スポーツイベントとして、SEA TO SUMMIT®はアウトドアスポーツ環境に優れたこの鳥取県西部地域で2009年に産声をあげました。それから、回を重ねるごとに全国各地に輪が広がり、昨年は記念すべき10回目の大会と全国すべてのSEA TO SUMMIT®開催地の首長等が集まったSEA TO SUMMIT®サミット会議が開催されました。大山開山1300年祭で当地が注目を集める中、大会は大きな盛り上がりを見せ、また、会議ではSEA TO SUMMIT®を通じた自然環境保全への意識向上並びに健康への感謝、人間個々が本来持つ能力の可能性への気づきの促進、そして、誰もが生き生きと暮らせる社会の実現を目指すことが高らかに宣言されました。

今年のSEA TO SUMMIT®は、過去最多の全国13大会の開催を予定し、本大会で創設した高齢者や障がい者を含む全ての人が自身の能力に応じて挑戦できる「パラチャレンジの部」は、新しい基軸として各大会にも導入される予定と伺っています。鳥取県は、これからもSEA TO SUMMIT®の考えに賛同し、本大会を通じて、さらに多くの方々に本県の魅力を体感していただけるよう努めて参ります。

また、当地は、本大会だけでなく、海や山、湖、温泉などの恵まれた自然環境を活かし、「全日本トリアスロン皆生大会」などアウトドアスポーツイベントが盛んな地域です。来月には、美しい日本海・美保湾を舞台に、セーリング競技（レーザー級）の年間世界王者を決定する「レーザー級世界選手権大会」が開催され、2020年の「東京オリンピック」の国別出場枠をかけた決戦が行われます。また、2021年には、世界最大級の生涯スポーツの祭典「ワールドマスターズゲームズ(WMG)2021関西」が開催され、本県で自転車、グラウンドゴルフなどの競技が予定されるなど世界レベルの大会が目白押しとなっています。2021年の本大会が、「WMG2021関西」のオープン競技に採用されることが先日決定しました。これをきっかけに、本大会が、国内外を問わず多世代、多地域、多文化間の交流の場となりますことを期待しています。

現在、皆生温泉から来春完成予定の「境夢みなとターミナル」を結ぶサイクリングロード「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」を整備中で、県東中部のサイクリングルートと併せて、今年度末には本県を東西に結ぶサイクリングルートが完成する予定です。ぜひ皆様にも昨年大幅リニューアルして多くの観光客で賑わう「水木しげるロード」から、名探偵コナンに会える「青山剛昌ふるさと館」、本県の代名詞でもある日本最大の海岸砂丘の「鳥取砂丘」等魅力的なスポットをサイクリングルートを使って訪れていただきたいと思います。

平成の御代が終わり、令和となって初めてのSEA TO SUMMIT®、時代は変わっても、悠久の自然が参加者の皆様をお迎えます。薫風の中、森の木々が一斉に芽吹く新緑を楽しみながら、思い思いのペースでゴールされ、山頂から眼下に広がる日本海、すなわち自力で進んできた道のりを一望に見渡して本大会の醍醐味を味わってください。

終わりに、本大会の開催に当たり御尽力いただいた大会関係者の皆様に深く感謝を申し上げるとともに、参加の皆様の御健闘と、この大会を通じて多くの人々が出会い、新たな絆が生まれることを期待しています。

大いなる伯耆の恵み 山里海に 皆生かされる

「皆生・大山SEA TO SUMMIT®」は関係各位の皆様の協力のもとに第11回目を開催する運びとなりました。皆生・大山の素晴らしい自然のもと、全国からアウトドアスポーツを愛好する人々が集います。1日目の環境シンポジウムに始まり、2日目は日本海からスタートして、それぞれのペースでタイムを競うことなく自然の循環を肌で感じながら、カヤック・自転車・登山で大山の頂上を目指します。

「SEA TO SUMMIT®」を基にこの皆生・大山で始まった「ジャパンエコトラック」。現在、登録エリアは全国16カ所になりました。このようなエコツーリズムの仕組みが全国各地に広がっています。「SEA TO SUMMIT®」にご参加いただいた後にも、ぜひまたこの皆生・大山で365日いつでも四季折々の魅力とアクティビティを楽しんでいただけたらと思います。

海・里・山一。

「SEA TO SUMMIT®」は人力だけで海から頂上を目指し、大自然を全身で感じながら汗をかき、人と自然のかかわり方の在るべき姿を改めて考える大会です。そんな時間を皆さんと共有したいと思います。



SEA TO SUMMIT®
連絡協議会理事長
モンベルグループ代表
米子・大山観光大使

辰野 勇

皆生・大山 SEA TO SUMMIT® 2019

開催要綱

主催 | 皆生・大山 SEA TO SUMMIT® 実行委員会（事務局／株式会社モンベル）
後援 | 国土交通省、観光庁、スポーツ庁、環境省中国四国地方環境事務所、鳥取県、米子市、大山町、日吉津村、公益財団法人とっとりコンベンションビューロー、ジャパンエコトラック推進協議会

特別協賛 | 株式会社モンベル、マツダ株式会社

協賛 | 教えて!「かくれ脱水」委員会、日本コア株式会社、大山ハム株式会社、ナイトアイズ、日本航空株式会社、Be Protected Everyday、株式会社ビクセン、プロテック、株式会社むそう商事、アリスト販売株式会社、株式会社ヤママップ、アゾロ、アドベンチャーテクノロジー、バイオライト、フォジジズ、ガーバー、グレイル、ヘリノックス、ヒューマンギア、ジェットボイル、クピルカ、NRS、パーセプション、ラフウェア、トランゴ、ライオット、パナソニック サイクルテック株式会社、株式会社CTR、有限会社ウメハラ、江原酒造本店、有限会社大岩酒造本店、奥大山ブルーベリーファーム、皆生温泉観光株式会社、皆生温泉旅館組合、株式会社さくらざ、久米桜麦酒株式会社、寿製菓株式会社、サントリー食品インターナショナル株式会社、白バラ商事株式会社、しんこうサンイン・フーズ、大幸株式会社、宝製菓株式会社、株式会社テイクオフ、長田茶店、日本ライフライン株式会社、ファミリーイナダ株式会社、株式会社ホクニチ、丸京製菓株式会社、株式会社やまさき、米子中浦株式会社、株式会社リアルハンズ、株式会社ロブテックス、わくわく工房

実行委員会 | 鳥取県、鳥取県西部総合事務所、米子市、米子市観光協会、大山町、一般社団法人大山観光局、日吉津村、皆生温泉旅館組合、皆生レクリエーションカヌー協会、NPO法人皆生ライフセービングクラブ、大山の頂上を保護する会、鳥取県カヌー協会、鳥取県サイクリング協会、鳥取県山岳・スポーツクライミング協会、鳥取県トリアスロン協会、NPO法人美保湾ヨットクラブ、株式会社モンベル

大会期日 | 2019年5月25日(土) - 5月26日(日)

会場 | 5月25日 皆生海浜公園（開会式・環境シンポジウム／雨天決行）
5月26日 日野川河口（スタート）、大山国立公園駐車場（博労座／閉会式）
【海のステージ（カヤック）】日野川河口→皆生海浜公園→日野川河口（約8km）
【里のステージ（自転車）】日野川河口→大山町総合文化スポーツセンター→博労座（約23.5km）
【山のステージ（ハイイク）】博労座→大山頂上（弥山）（約3.5km）

定員 | 先着300名（募集人数に達し次第、受付を終了します）

参加費 | **【シングルの部】** 税抜き料金¥10,500（税込¥11,340）
【チームの部】 税抜き料金¥10,500（税込¥11,340）×人数
【パラチャレンジの部】 税抜き料金¥10,500（税込¥11,340）×人数（健康者や伴走者を含めた総人数）
※参加費には[環境保全協力金¥500]を含む

参加資格 | ●シングルの部:高校生以上 チームの部:中学生以上
●健康な方で、参加者全員分のカヤック装備（パドル・ライフジャケット・フラッグの装着を含む／SUPの場合リシューコード必須）、自転車装備（ヘルメットを含む）、水分補給のための給水用装備（ハイドレーション・システムなど）、伴走者などのサポートを用意できる方
●大会事務局より大会参加承認を受けた方
※病弱、心臓に障害のある方は参加できません。 ※高校生以下の参加には保護者の同意が必要です。 ※年齢は大会当日を基準とします。

日程	5月25日(土)	5月26日(日)
【会場】日野川河口	11:00～ 駐車場入庫開始 12:00～14:30 大会受付 カヤック・自転車搬入 ※受付終了者に限る。 ※14:30以降の搬入は行っておりません。 14:30以降となる場合は、翌日26日に行ってください。	5:30～ カヤック・自転車搬入 6:00～ 参加者集合 6:30～ 大会スタート
【会場】皆生海浜公園	15:00～ 開会式 15:30～ 環境シンポジウム（→詳細P.8） 16:45～ 大会説明	【会場】大山国立公園駐車場（博労座） 12:00～ イベント会場オープン 15:30～ 閉会式・参加者集合写真撮影 17:00 大会終了 ※天候およびコースの状況により変更になる場合があります。
【会場】米子市観光センター	17:30～19:00 前夜祭（参加者交流会）（→詳細P.8）	閉会式終了後19:00から 「伯耆国「大山開山1300年祭」プレゼンツ JFN公開録音 「OH!HAPPY MORNING」in 大山～星空ライブ～宮沢和史×馬場俊英」 を開催します。（観覧無料）

制限時間 | カヤックスタートより ●5時間以内に【博労座】（約31.5km地点）
●8時間半以内に【大山頂上（弥山）】 ※詳しくは次ページの地図をご覧ください。

5月26日 日

大会コースとチェックポイントのご案内です。応援ポイントなどもご紹介しておりますので、ぜひ参考にしてください。

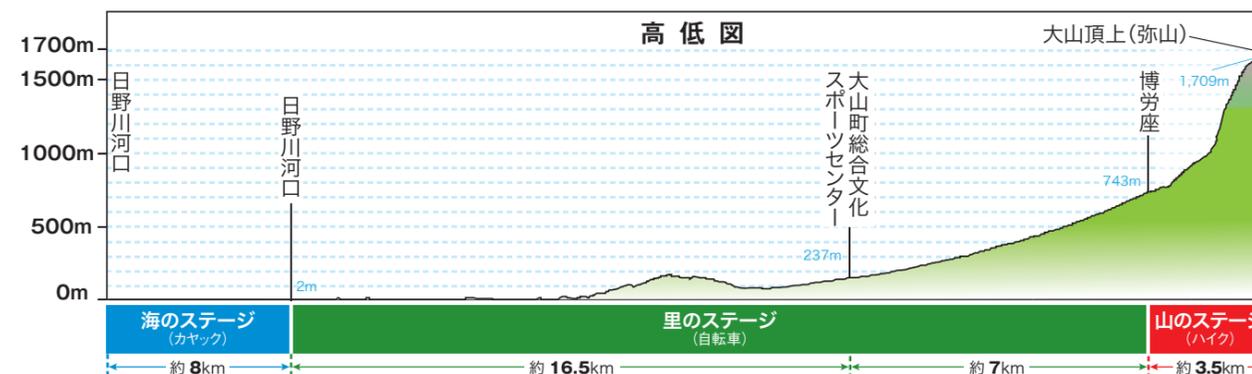
皆生・大山大会のコースマップ (協力: 株式会社ヤマップ) 

コースや主要ポイントを網羅した大会専用地図が、YAMAPアプリにて無料でご利用いただけます。

※事前にYAMAPアプリをダウンロードし、会員登録のうえ、ご利用ください。

<https://yamap.co.jp/map/7852>

※天候およびコースの状況により変更になる場合があります



35°45'50"N 133°37'57"E

日野川河口

(大会スタート地点)



【応援目安時間】6:30-8:00

35°45'31"N 133°44'132"E

白鳳の里



【応援目安時間】7:30-9:00



チェックポイント



エイドステーション



応援ポイント



トイレ



駐車場



自転車メンバー交代可能地点



多目的トイレ



35°46'37"N 133°48'58"E

仁王堂公園



35°43'96"N 133°50'02"E

大山町総合文化スポーツセンター



※隣接する大山農村環境改善センターに多目的トイレがあります。(8:00以降使用可)

【応援目安時間】8:00-10:00

35°23'40"N 133°31'43"E

博労座



【応援目安時間】8:30-11:00

35°22'16"N 133°32'24"E

大山頂上(弥山)

(大会フィニッシュ地点)



【応援目安時間】9:30-14:30

【応援サポーターの方へ】

路上駐車、自動車による自転車との併走は他の方のご迷惑となりますので、ご遠慮ください。各応援ポイントの最寄りの駐車場Pをご利用ください。

mont·bell

株式会社モンベル
https://www.montbell.jp/

総合アウトドア用品メーカー。「FUNCTION IS BEAUTY (機能美)」
「LIGHT & FAST®」をコンセプトに、高機能な登山用品、アウトドア用品
の開発・製造・卸・販売を行っています。



マツダ株式会社
https://www.mazda.co.jp/

私たちマツダは、人々に人生の輝きを提供し、地域・社会との共存に挑戦し
続けます。技術開発長期ビジョン「サステナブル "Zoom-Zoom" 宣言
2030」に基づき、「地球」「社会」「人」とクルマが共存する世界の実現を目指し、「走る喜び」にあふれたカーライフを通じて、お客様の人生をより豊かにし、
お客様との間に特別な絆を持ったブランドになることを目指していきます。



ヒューマンギア
http://www.humangear.com/

「ゴーバイト」や「ゴートゥープ」など、アウトドアやトラベル・
シーンを快適にする、シリコン製容器や、丈夫で軽量なカ
トラリー・シリーズなどユニークなアイテムを取りそろえた、ア
メリカ発のブランドです。



ジェットボイル
https://www.jetboil.jp/

アメリカで数多くの賞をおさめた、アウトドア調理器具ブ
ランド「ジェットボイル」。保温クッカーと熱効率の高いストー
ブがセットになった、簡単便利・軽量・コンパクトな製品を生
み出しています。

KUJILKA

クピルカ
https://kupilka.fi/ja/

フィンランド生まれのクピルカは「小さなカップ」という意味を
持ち、自然と手になじむようにデザインされています。耐久・
耐熱性に優れ、お手入れも簡単。アウトドアに最適です。

教えて!
「かくれ脱水」委員会

教えて! 「かくれ脱水」委員会
http://www.kakuredassui.jp/

深刻な脱水状態の一手前を「かくれ脱水」と名づけ、脱
水に対する正しい知識と予防方法・対処方法を伝えています。
私たちは、深刻な脱水状態を防ぐことで熱中症で搬
送される人をゼロにしたい。



日本ゴア株式会社
http://www.gore-tex.jp/

耐久防水性、防風性、透湿性を併せ持つ機能性素材
GORE-TEXファブリックスの製造メーカー。GORE-TEXブ
ロダクトは、気候の変化から体を守り、アウトドアでの活動を
より快適なものにします。



大山ハム株式会社
http://www.daisenham.co.jp/

2013年ドイツ農業協会 (DLG) 主催国際品質競技会金賞
受賞の「カントリロースト (スライス)」を中心に、丹念に造り
上げたハム・ソーセージ・ベーコンを食卓にお届けします。



エヌアールエス
https://www.canoeing.jp/

1972年に創業。「究極の実用性」をコンセプトに、快適性
や利便性を考えた製品を製造。インフレーターSUPやパ
ドルなどを展開しています。



パーセプション
https://www.canoeing.jp/

1976年、アメリカを代表するカヤックデザイナー、ビル・マス
ターによって創業。「パフォーマンス」&「コンフォート」というコ
ンセプトのもと、より楽しむことを前提に冒険心を随所に盛り
込んだカヤック、それがパーセプションのスタイルです。



ラフウェア
https://www.ruffwear.jp/

人と犬と一緒にアウトドアを楽しむための犬用アウトドア・ブ
ランド。品質、機能性、そして安全性を備えた商品は愛犬家
にとどまらず、災害救助犬の現場からも高い評価を受けて
います。

Panasonic

パナソニック サイクルテック株式会社
http://cycle.panasonic.jp/

パナソニックサイクルテックは、多様なタイプの電動アシ
スト自転車、スポーツ自転車と共に様々なサイクリングラ
イフの提案を行っています。



トランゴ
http://www.trango.co.kr/

ユニークかつ高品質の商品が世界中のクライマーから注
目を集めるクライミングブランド。カラビナなどのクライミング
用品を取り扱っています。



ライオット
https://www.canoeing.jp/

1996年、カナダ・モントリオールで生まれたカヤックブランド。
ツーリングカヤックからホワイトウォーターカヤックまで幅広く展
開し、さまざまなフィールドでパドルをサポートしています。



皆生温泉旅館組合



株式会社ビクセン
http://www.vixen.co.jp/

ビクセンは60年以上にわたって、双眼鏡、天体望遠鏡、
ルーペなどを製造している光学機器のメーカーです。レンズ
越しに広がる美しい星空や、新しい眺めを、より多くの人に
楽しんでいただきたいと思います。



JAPAN AIRLINES
日本航空株式会社
https://www.jal.com/ja/

「世界で一番お客様に選ばれ、愛される航空会社」を目指し、
一人一人のお客様へのおもてなしの心を大切に、世界
に先駆けた挑戦を重ね、常に新しい価値を創造しています。



Be Protected Everyday
http://cmoon.biz/

“香りを楽しむ虫よけ” 天然由来の虫よけに消臭効果とフ
レグランスをプラス。日本製でディート不使用。子供から大人
まで安心してお使いいただけるオールインワンスプレーです。

SUNTORY

大山Gビール



和洋酒・総合食品
有限会社 **ウメハラ**

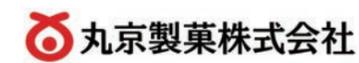
奥大山
ブルーベリーファーム
OKUDAISEN BLUEBERRYFARM

白バラ牛乳
白バラ商事株式会社

宝製菓株式会社







江原酒造本店



しんこう
サンイン・フーズ株式会社

株式会社テイクオフ

株式会社やまさき




アリスト販売株式会社
http://www.arist.co.jp/

「メダリスト」はクエン酸サイクルに基づき開発された、10年
以上の実績を誇る回復系飲料のロングセラー。1日に梅干
し約12個分のクエン酸とアミノ酸、ビタミン、ミネラルなど
40種類の成分を配合しています。



株式会社ヤママップ
https://yamap.co.jp

国内最大級の登山・アウトドアアプリ「YAMAP (ヤマ
マップ)」。コースや主要ポイントを網羅した大会専用地図が、
YAMAPアプリにて無料でご利用いただけます。ルート確
認や思い出の記録にご活用ください。



アソロ
https://www.asolo.jp.net/

革新的で高機能なマウンテニアリング・シューズを世界に
先駆けて生み出し、世界のアウトドア用フットウェアをリード
し続けているイタリアのフットウェアブランド。



フォジルス
https://www.fozils.com/

“Think flat. Pack flat.”をブランドコンセプトに軽量・コン
パクトな折りたたみ式食器(カップ、ディッシュ、ボウル)を開
発しています。



ヘリノックス
https://www.helinox.jp/

優れた強度と柔軟性を持つアルミニウムボールを採用した
超軽量・コンパクトなチェアやテーブル、コットなど、革新的
なアイテムを生み出すアウトドア・ファニチャーのブランド
です。



バイオライト
https://www.biolitestove.jp/

ガソリンなどの化石燃料を使わなくても、強力で安定した焚
き火ができ、さらに発電も可能という画期的なキャンピング・
ストーブを開発。ソーラーチャージャーやライティンググッズ
など、電気のカでアウトドアをもっと快適にします。



グレイル
https://www.thegrayl.com

アウトドアにおいて安全な水を素早く確保できる浄水ボトル
ブランドです。



ガーバー
https://www.gerbergear.com

アメリカ・オレゴン州ポートランド生まれ。フォールディング
ナイフからマルチツールまで幅広い種類のナイフを製造し
ています。